

# [ 江別市 ] 施策達成度報告書

**政策** 01 環境と調和する都市の構築

**施策** 03 水とみどりの保全と創出活用

主管課 環境室環境課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止の観点から、みどり(樹木)は二酸化炭素を吸収する役割を担っており、保全・創出の重要度は増している。</li> <li>市民の自然環境、緑化保全意識の高まりは年々増高の傾向にあり、「豊かな心の醸成」と「自然希求」のライフスタイルが浸透し、草花や樹木を生活空間に取り入れ、自然とふれあいながら生活を楽しむ市民が増えている。</li> <li>自治会等で取り組む「花のある街並みづくり運動」や農村地域での花で彩る取り組みなど、快適な環境づくりが地域の取組みとして実践されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的に貴重な平地原生林である野幌森林公園など、貴重な自然の恵みを活かしたまちづくりが求められている。</li> <li>水と緑豊かな街づくりのためには、地域の特徴を活かした環境保全活動が市民的運動として発展、定着することが不可欠である。</li> </ul>

## 施策の目的

市民・事業者・行政の協働により水と緑が豊かで、快適なまちを目指します。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

自然環境(緑資源・水資源)、市民、事業者、行政

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

水とみどり豊かなまちになっている。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
緑に親しめる空間があると思う市民割合	%	82.7	85.5			↗
水に親しめる空間があると思う市民割合	%	62.8	67.6			↗

## 施策の達成状況 (22年度)

平成22年度は市民アンケートを実施していないため、指標の取得はできなかった。両指標とも横ばい傾向にあるが、「緑に親しめる空間があると思う市民割合」では、野幌・大麻地区は野幌原始林に隣接しているため、江別地区は相対的に低い傾向が続いているものと考えられる。また、「水に親しめる空間があると思う市民割合」では、江別地区は野幌・大麻地区と比べ低く、これは江別地区が石狩川や千歳川、早苗別川に隣接しており、過去の水害等の影響から、川に対する認識が「親しむ」というよりも現実的な対象となっているものと考えられる。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	24,707	32,504	30,915
事業費(千円)	11,015	17,593	15,844
人件費(千円)	13,692	14,911	15,071

## 01 水とみどりの保全

### 基本事業の目的

市民と事業者、行政が協働して地域の水と緑を守り、身近な自然環境や水辺環境を守ります。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

自然環境、市民、事業者

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

水と緑を守る。  
身近な自然環境や水辺環境を守る。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
地域制緑地(緑地保全地区等)面積	ha	5,240	5,240	5,240		5,240

### 基本事業の達成状況 (22年度)

「地域制緑地(緑地保全地区等)面積には変化がない。今後も減少しないよう、市民植樹などをとおして緑地の保全を図る。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	3,277	4,531	4,632
事業費(千円)	788	904	966
人件費(千円)	2,489	3,627	3,666

## 02 水とみどりの創出活用

### 基本事業の目的

市民・事業者が、木や花を植えるなど緑を育てるとともに、水辺を活用し水と緑を感じ、ふれあうことにより、潤いのある緑豊かなまちづくりを目指します。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

自然環境、市民、事業者

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

緑を育てる。  
緑を育み、緑豊かなまちづくり。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
花のある街並みづくり事業の参加団体数	件	106	106	109		120
自宅で緑を育てている市民割合	%	59.4	55.7			↗

### 基本事業の達成状況 (22年度)

「花のある街並みづくり事業の参加団体数」は微増であるものの横ばい傾向にある。今後とも参加していない自治会などに参加を呼びかけるが、花壇がない、人手が足りないなどの要因で参加できない団体もあるのも現実である。  
「自宅で緑を育てている市民割合」は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。若年層ではアパートなどで緑を育てることが現実的に難しいことなどが要因として考えられる。今後も緑化相談を通して市民の緑化に関する情報提供を継続するなど、地道な活動を継続していく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	16,830	21,992	21,758
事業費(千円)	8,117	13,126	12,797
人件費(千円)	8,713	8,866	8,961